

# 西中の風

継続と徹底

伊丹市立西中学校長

垣内 修

## 今年も校門に門松が飾られました



12月17日（土）、正門に「門松（かどまつ）」が飾られました。これは、稲野小学校地区自治協議会の皆さんの協力を得て、本校PTA会長（現・前・元）をはじめPTA執行部や野球部・サッカー部の皆さんに作っていただき、校門に飾っていただきました。

一年の厄を払い、おめでたい一年をお迎えするために、日本古来より受け継がれてきたお正月飾りです。（門松の始まりは平安時代からといわれています。）松・竹・梅の3つの縁起物が主に用いられます。



【松】一年中落葉せず、長寿であることから、長寿、繁栄の象徴とされています。【竹】とても生長が早く2・3日で身の丈程になり、生命力を象徴しています。【梅】寒さに強く、最も早く花が咲く開花樹です。

【南天】ナンテン（難転）「難を転ずる」に通じる縁起物とされています。【葉牡丹（ハボタン）】幾重にも重なり合う葉が、「吉事（キチジ＝めでたいこと）を重なる」とされています。【苔木（コケボク）】「苔（コケ）が生える」とは実は永く在る物に対する羨望（せんぼう＝うらやむこと）の言葉です。いけばなの世界でも、苔はとてもおめでたいものです。これが着生した枝を「苔木」と呼び、主に梅の苔木をお正月の生花に用います。正月飾りの中でも、門や玄関前に飾る門松は、年神様（としがみさま）が家へ尋ね入るにあたっての目印だとされています。

門松とは、その年の皆さんの健康や勉強がうまくいくことを約束してくれるすごい神様がよりつく物のことです。門松にあやかって、来年1年間が素晴らしい年になるように願っています。



2023年は十二支の「卯（う：うさぎ）年」です。干支（えと）は「癸卯（みずのと・う）」です。干支はそれぞれに意味があるそうで、それによると「癸卯」は、「寒気が緩み、萌芽（ほうが＝草木が芽を出すこと）を促す」、厳冬が去り春の兆しが訪れたことを表しているのだそうです。コロナ禍以降停滞し続けていた世の中

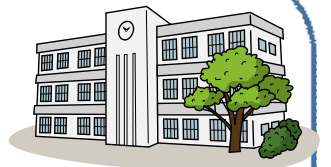
に、そろそろ希望が芽吹く春がやってきそうです。

2023年の卯年は、これまでの数年間から大きく「飛躍」し、私たちの生活が大きく「向上」する年になってほしい。そう強く願っています。

今まで培ってきた自分の力を試すとき、最後まで諦めずに希望を持ち続けながら、将来の成功につながるよう、こつこつと目の前の自分の勉強や仕事をこなすよう心がけていきましょう。



## 保護者の皆様へ



長かった2学期も、明日の金曜日で終わろうとしています。

今年も新型コロナウイルスの対応に翻弄された一年でした。幾度となく訪れた感染症の拡大、また、感染症予防対策の日々。いろいろと制限された生活が続きましたが、常に子どもたちの活動と保護者の方の想いを大切に考え、最善策を探しながら取り組んでまいりました。

元気な挨拶、毎日の授業や部活動など、一生懸命に取り組む姿勢と行動。友だちや仲間と心から楽しんで過ごす時の輝いた笑顔。1年生の1泊2日の林間学校、2年生の5日間の事業所でのトライやる・ウィーク、3年生の2泊3日の修学旅行で見せてくれた頑張り。そして、体育大会の競技やダンスで、文化祭での合唱コンクール・舞台発表・展示発表で、みんなで心を一つにして一丸となって学級や学年全員で見せた、やる気溢れる姿と最高の笑顔は、私たち教職員の誇りでした。生徒の皆さんの素晴らしい活躍に、心から感謝しています。

そして、これはいつも見守り育ててくださっているご家族を含め、多くの皆さんの「おかげ」でもあります。新型コロナウイルスの影響で保護者の皆様には、多大なご心配とご苦労をおかけしてきたことと思います。しかし、いつも学校の教育活動についてご理解とご協力をいただき、また、温かく見守りながら支えていただきましたことに心より感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

まだ先の見えない状況は続きますが、子どもたちの健康と安全を第一に、そして子どもたちが安心して精一杯力を発揮できる、子どもたちの笑顔があふれる学校となるように教職員一同、今後も力を合わせて取り組みを進めていきたいと思っています。

来年もどうぞよろしくお願いいたします。

